

国際医療拠点での二国間協定に基づく外国医師の業務解禁

(平成27年1月29日 厚生労働省通知 医政発0129第8号
令和5年3月24日厚生労働省通知 医政発0324第7号)

規制改革の内容

特例措置前

二国間協定に基づく外国医師の受入れは、協定上の診療対象、医師人数、医療機関を拡大しようとした場合、双務主義の制限あり

※締結国（R5.3月時点）
イギリス・アメリカ・フランス・シンガポール・ドイツ

特例措置

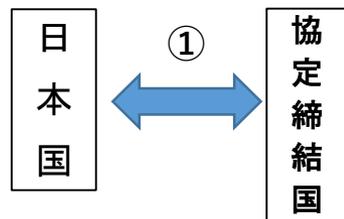
双務主義にとらわれず、特区自治体の提案をもって、診療対象等の拡大が可能

効果

増加する外国人の医療ニーズに対応でき、国際医療拠点の体制構築に寄与

規制改革の概要

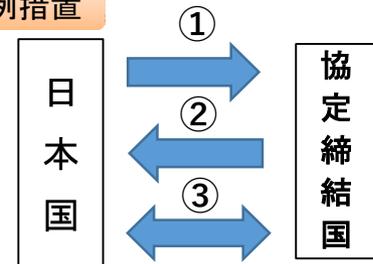
通常



①相互に人数枠や医療機関等を調整の上、協定変更の文書の取り交わし

双務主義の制限あり

特例措置



①特区自治体からの人数枠の拡大等の提案について、異議の有無の確認

②異議なしの回答

③協定変更の文書の取り交わし

双務主義の制限なし

外国医師が診療可能な対象者

(協定で決められた対象者)



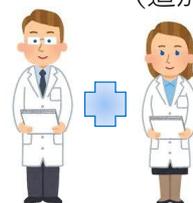
(追加)



外国人なら誰でもOK!

外国人一般へ診療対象の拡大

外国医師



人数枠の拡大

外国医師が診療可能な医療機関



(追加指定)

医療機関の追加指定